

## 02 会長のはなし

vol.2

皆さんこんにちは、PTA会長です。先日はコロナ禍の中、無事運動会が開催されましたね。特に6年生の皆さんにとっては、最後の運動会、また、唯一の鼓笛の披露の場だったこともあり、本人たちだけでなく、見ている保護者の方々も感慨深いものがあったのではないのでしょうか。



さて、今回から本格的にPTAへの理解を深めてもらおうということで、いろいろなテーマを決めて、お伝えしていきたいと思います。

### PTAってそもそも、なに？

皆さんにご協力いただいているPTAって、そもそも何なんでしょう？

『Parent Teacher Association』の頭文字をとってPTA、本校では『父母と教師の会』と言っていますね。調べてみると、そもそもは戦後、GHQが勧奨したそうですが、お堅い話になるので興味がある方は是非ご自身で調べてください。

PTA活動はざっくりと言えば、『すべての児童生徒のための無償ボランティア活動』ということです。保護者や先生のためではありません、子どもたちのためのものなんです。保護者が先生や地域の方々と協力して、子どもたちの健やかな成長をサポートする。活動内容は多岐にわたりますが、どの活動も行き着く先は、『すべて子どもたちのため』ということになればならないんですね。



## PTAって、必要ある？



これは、個々人それぞれの考え方があるところですね。私も以前は、PTAってやる必要、ある？と思っていました。自分が当事者になり、色々な方から話を聞いたり考えてみたりすると、『あれ、PTAって必要じゃん！』という考えに至りました。理由をいくつかお伝えしていきます。

### その1

#### 学校と地域のパイプ役

まず気づいたこと、それは『子どもたちの安全のため』に必要だということです。最近、安心安全メールなどで、福島市内の不審者情報だったり、熊の目撃情報だったり送られてきます。子どもたちが登下校する際、万が一何かあった際、どうすればいいでしょう？そんなときのために、PTAが杉妻学区内の企業や個人の方々に協力をお願いしている、『避難の家』というものがあります。何かあった際には子どもたちが避難できて助けてもらえる。保護者や先生方にとって、もしもの時の頼みの綱です。



また、各地区育成会の皆さんと地域の方々が協力して、『サポート隊』として一年生の下校を見守ってくれています。特に今の時期の一年生は、周りのものがすべて新鮮で、あっちにフラフラ、こっちにフラフラ、とても心配です。誰かの見守る目がなければ、いつ事故に遭うかわかりません。

このように地域の方々の協力をいただいて、子どもたちの安心安全を守っているんです。PTAが学校と地域を繋ぐパイプ役となり、子どもたちの安全を守る、それだけでもPTAの存在意義はあると思いませんか？もし、PTAが

なかったらどうでしょう？それでも子どもたちのために協力してくださる地域の方もいらっしゃると思いますが、親が学校に協力しないのであれば、地域の方々の協力は得られないと考えるのが当然でしょう。



## その2

### 先生方のサポート



今年から、iPadが全児童に配布され活用されてますね。私たち保護者が小学生の頃とは比べ物にならないくらい、様々なことが小学校で行われています。先生方の負担も年々増えて行っているように思います。

例えば学校の清掃活動、昨年度からのコロナの影響で、校舎内の清掃は子どもたちもやっていますが、感染予防のために先生方が中心になって行っています。そういった負担を少しでも軽減するために、PTAでボランティアを募って清掃活動を行うなど、微力ながら先生方のサポートをしています。先生方の負担が少しでも減れば、その分わが子への教育や指導に集中してもらえ、結局、私たちのPTA活動が子どもたちのために繋がるんです。

## その3

### 子どもや先生のお目付け役！？



子どもって、親や先生など周りの目がなければ、宿題をやらなかったり手を抜いたりしますよね。大人も一緒だと思います。私自身も、家族と一緒にいる時間は家事を手伝ったり、カッコいいお父さんに努めています。お客さんが来るってなれば、家の中をいつも以上に掃除しなきゃって思ったり。でも一人の時はどうしても、だら～っとしてしまいます。



第三者の目ってすごく大事で、誰かに見られていると意識するだけで、やら

なきゃ！って気持ちになります。

これは、先生もきっと同じだと思います。PTAという外からの目があるというだけで、背筋が伸びるというか、緊張感を持ってもらえるというか。車を運転していてパトカーとすれ違ったときに感じるアレと一緒にですね。日常的に誰かしら保護者が校舎内を歩いていれば、子どもたちは挨拶する習慣につながるし、先生方も子どもたちだけでなく、保護者の姿を意識すれば、緊張感や頑張ろうというやる気につながると思います。



PTAというお目付け役？が学校に少なからずいい影響をもたらすと思っています。

・・・そんなことはないですか？先生・・・



とりあえずパッと三点ほどあげてみました。まだまだありますが、書き出すと止まらないので本日はこのあたりで…。今日お伝えしたことは、あくまで私が考えた末にたどり着いたものです。これが正解だという訳ではないですし、一人ひとり考え方や立場が違うということも理解しているつもりです。

今日の記事をご覧になって、みなさんがPTAの存在意義や、PTAについて考える機会に繋がればと思います。

それではまた！！

